

科目名	国語教育学			担当教員	久田 義純	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭					
実務経験を生かした授業内容	学校現場での実際についても紹介しつつ、国語科教育研究の理論を扱う。					
到達目標及びテーマ	国語科教育研究の各領域の内容や学習指導方法等に関する理解を深める。研究動向についても学び深め、学校現場にて理論を継続的に活用していく基礎的な能力を高める。					
授業の概要	小学校国語科教育研究を中心に、制度・歴史・目標・内容といった教科構造に関わるることについて理解を深める。 「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域における学習指導方法や研究成果・動向について学び深める。またその際、指導のアイデアを考えるなど、演習を取り入れ実践力を高める。 後半の授業では「メディア」「インクルーシブ教育」など現代的な課題についても扱う予定である。今後を見据え、持続的に国語科教育研究に関わっていくことのできる基礎的な能力を養う。 【デジタル技術利用 該当番号：④】					

授業計画	
第1回	オリエンテーション（授業の流れ、「国語教育学」で扱うことの概要説明）
第2回	国語科教育の教科構造（１）教科の基盤に関して・言葉を学ぶ教科としての国語
第3回	国語科教育の教科構造（２）制度と歴史
第4回	国語科教育の教科構造（３）目標と内容
第5回	読むことの学習指導（１）文学的文章
第6回	読むことの学習指導（２）説明的文章
第7回	読むことの学習指導（３）読書指導
第8回	読むことの学習指導演習
第9回	話すこと・聞くことの学習指導（１）独話
第10回	話すこと・聞くことの学習指導（２）対話・話し合い
第11回	話すこと・聞くことの学習指導演習
第12回	書くことの学習指導（１）説明文・意見文
第13回	書くことの学習指導（２）創作
第14回	書くことの学習指導演習
第15回	国語科教育の現代的な課題について（メディア、インクルーシブ教育 等）

事前学修	2時間	テキストの該当範囲について読み、内容の概要を掴む。
事後学修	2時間	授業を振り返り、今後の実践へと活用していきたい理論や指導方法についてまとめる。
フィードバックの方法	毎回の授業について、重要なポイントをまとめて提示する。授業の振り返りに対して適宜コメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	60%	授業で扱った内容を踏まえ、国語教育学の内容や理論について自らの見解を論じているか評価する。
上記以外の試験・平常点評価	40%	演習の取り組みなど、学びの姿勢を評価する。

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
新たな時代の学びを創る 小学校国語科教育研究	全国大学国語教育学会	東洋館出版社	9784491037660	なし
参考資料	・小学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・中学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・全国大学国語教育学会編（2019）『新たな時代の学びを創る 中学校・高等学校国語科教育研究』（東洋館出版社） ・全国大学国語教育学会編（2022）『国語科教育学研究の成果と展望Ⅲ』（溪水社）			